

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の多施設共同臨床研究に参加しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 早期 HIV 感染者の予後に関するアジア多施設共同研究-2017 後ろ向き調査-

[研究機関] 北海道大学病院 血液内科

[研究責任者] 遠藤 知之（血液内科・講師）

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 田沼 順子

[共同研究機関名・研究責任者名]

独立行政法人国立病院機構九州医療センター 免疫感染症科 南 留美

東京医科大学病院 臨床検査医学科 四本美保子

ヨンセイ大学 AIDS 研究所（韓国、ソウル）In Young Jung

[研究の目的] アジア地域における HIV 感染者の病状進行速度を調べるのが目的です。

[研究の方法]

1997 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までに、当院を含む研究参加 5 施設を受診し早期 HIV 感染症と診断された方の臨床情報（HIV 感染症診断時の年齢、性別、家族歴、人種、身長、体重、血圧、エイズ指標疾患、既往症、推定感染日、検査日、検査内容、症状、HIV 感染症の治療内容、CD4 数、HIV-RNA 量、肝機能、腎機能、肝炎、合併症）を過去に遡って調査します。得られたデータで病状進行速度、生存率、治療効果を解析します。

2009 年 10 月 1 日から行われた先行研究「早期 HIV 感染者の予後に関するアジア多施設共同研究」で集められたデータを引き継ぎ、新たに対象となった方のデータを追加して解析が行われます。

研究データは匿名化し、国立国際医療研究センターに集められて解析が行われます。共同研究機関からの研究データの提供も匿名化した状態で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

[研究実施期間] 承認日～2020年3月31日

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

*上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院血液内科 担当医師 遠藤 知之

電話 011-706-7214 FAX 011-706-7823